

意見提出者	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
1. 項目	自動車関連情報の整備・諸活用
2. 既存の制度・規制等によってICT利活用が阻害されている事例・状況	<p>自動車の製造、販売、登録、保守、日々の利用に関わる諸情報など、様々な情報は、自動車のライフサイクルを通じての一貫した管理はなされておらず、また複数機関に散在している。</p> <p>このため、自動車の製造・販売事業者や消費者だけでなく、各種情報を活用した環境・リサイクルビジネスなどの事業者においても、情報の入手や高度な活用が困難となっている。</p>
3. ICT利活用を阻害する制度・規制等の根拠	<p>道路運送車両法</p> <p>道路交通法</p> <p>自動車公正競争規約</p>
4. ICT利活用を阻害する制度・規制等の見直しの方向性についての提案	<p>車両ごとに、各車両の過去のオーナー数、オーナーごとの所有期間、年間走行距離、走行距離、過去の事故情報などが一元管理され、公開される様な制度を整備することにより、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各車両の適切な情報開示（価格、使用履歴、修理・事故情報など）による、中古車の売買当事者の安心感の醸成・活性化</li> <li>・資源の有効利用</li> </ul> <p>などが期待できる。</p>